

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年2月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね
所在地	鹿児島県いちき串木野市上名5050番地1 (電話) 0996-33-2210
自己評価作成日	令和3年12月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと就労支援施設等の障害者施設が開設し、子供達やサバイバーの方と交流を図っている。
- ・毎朝申し送り時に理念を復唱し、理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人の要望を取り入れ、家族と話し合いながら、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域や家族、同法人内施設で協力してペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を行っている。
- ・地域ボランティアによるころばん体操は、コロナ禍の影響により行えていない。コロナ禍が落ち着き、地域の方々と触れ合う事が出来る様になった際には、ころばん体操を再開したいと思います。
- ・介護相談員事業に参加し、毎月1回入居者と話しをして頂き、サービスに関して不安や不満を聞いて頂きサービスに繋がられるように実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、敷地内に児童発達支援センターと就労支援施設が併設されている。コロナ禍で外出自粛中も事業所は掃き出し窓の為、子供達が散歩時に子供達と入居者はお互いに手を振って交流している。
- ・職員は入居者の思いを大切にし、自由に行動できるよう支援している。
- ・現在も同法人内施設で協力して、ペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を継続している。
- ・年4回のホーム便り発行とコロナ禍の為、月1回入居者の写真と一文を添えて家族へ手渡している。
- ・当事業所は関連施設と連携し、入居者の希望でマッサージやリハビリの支援をしている。
- ・施設長は職員の意見や提案に対して管理者や主任と話す機会を設け、課題解決を図っている。また、職員は施設長や管理者に話しやすく、働きやすい環境で、希望する研修にも参加している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>各ユニットごとに、理念を掲示している。又、外などでも理念がわかるように、ネームの裏にも入れてある。コロナ過だった為、朝礼時の唱和を中止している。</p>	<p>理念は各ユニットのタイムカード設置場所の壁に掲示し、各自のネーム裏にも添付し、朝礼時に確認している。毎月目標設定し実践に繋げ、全体会議で振り返って次に繋げている。理念はパンフレットにも掲載している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>コロナ禍では、直接の交流は、出来ていないが、ホームの前を子供たちが、散歩時に窓越しから手を振られたりしている。地域ともコロナ過で交流が出来ていない状態が継続している。地域の出来事などは、連絡は届いている。</p>	<p>自治会に加入し回覧板や運営推進会議参加の公民館長から地域情報を得ている。コロナ禍で地域行事は自粛となり、敷地内の児童発達支援センターの子供たちとのガラス越しでの交流や旬野菜の差し入れがある。ペットボトルのキャップを収集する活動を継続し交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>コロナ禍により地域貢献が、現在出来ていないが、相談に来られた方、家族の方には、認知症の情報を伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ過でも対策をしながら、運営推進会議を行っている。日常活動の報告や入居状況、等報告し意見交換をしながら、サービスの向上に繋げている。</p>	<p>感染症対策をして、定期的に会議を開催している。入居者状況や事故・インシデント報告・外部評価等を報告している。家族からは体験談や認知症対応について相談がある等、意見交換ができ、関わり方を見直す等、ケア技術の向上に繋がっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>行政担当の方と、密に連絡を取り合い、わからないことを聞いたり、ご指導やご助言をいただいている。</p>	<p>市担当者とは直接窓口に出かけ相談したり電話でも情報交換している。運営推進会議で事業所の状況を報告し指導を受けるなど協力関係を築いている。介護相談員の受け入れもあり、市主催の研修にも参加している。グループホーム協議会からのメールで情報共有している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設全体として、身体拘束・虐待防止委員会を立ち上げ、年4回3カ月に1回の勉強会を開催し話し合う事で身体拘束について考える機会を作っている。また、コロナ過対策をしながら、外部の研修にも参加している。</p>	<p>身体拘束・虐待防止委員会を中心に3ヶ月毎にネット資料や外部研修をもとに言葉の拘束を含めた勉強会を開催し、身体拘束をしないケアに努めている。家族の許可を得て床センサーの使用もいる。日中の玄関施錠はせず、見守り支援し、外に出ようとされる場合は、必ず何をしたいか声かけし、一緒にホーム周辺を散歩支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設全体として、高齢者虐待防止について勉強会を実施したり、外部研修に参加している。日常のケアの中で不適切ケアを発見した場合は、本人に注意し管理者へ報告している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する知識や制度を理解できるよう、フロアー会議等にて、日々学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約、解約時又は改定時には説明を行い納得をして頂き捺印して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議時に家族又は、利用者から意見、要望等が何か尋ね、毎月のミーティング等で検討し玄関には意見箱を置く等いつでも記入が出来るようにしている。また、面会時にも意見要望がないか、尋ねている。	利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。家族からは運営推進会議や電話・来訪時に意見や要望を聞き、毎月、利用者の写真と状況報告に一文を添えて手渡したり、年4回のホーム便りも送付している。要望で関連施設と連携し、マッサージやリハビリは継続している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に行っている、月1回の合同ミーティングで職員の意見や提案など聞き施設長や管理者と話す機会を設けている。</p>	<p>毎月の合同会議とユニット会議また、朝礼や日々の関わりの中で意見や提案を聞いている。相談事は管理者が対応したり、施設長・主任等と話す機会を設け対応している。出された意見で介護ケア技術の質向上に繋がっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>月1回施設長や管理者や職員が、合同ミーティングに参加し向上心ややりがいを持って働けるように職場環境に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修、法人内の研修については、コロナ過の影響にて参加できていない状況であるが、コロナ対策をしている、研修には参加し始めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会、同地域の同業との交流会についても、コロナ過の影響に有り、情報の共有は、FAX・メールにてやり取りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人への声掛けを多くし、その方の生活歴を聞きながら、早く安心して生活が出来るように、関係づくりに努めている。また本人やご家族の要望をケアプランに反映している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居される際、ご家族が、不安に感じられていることを話し合い、納得して入居して頂く様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況の把握に努め、支援が出来るようにしている。また、ケアプランに沿ったサービスを提供する様、努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人にとって支えになる関係を目指し、出来ることは一緒にして頂ける関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ過での影響で制限がある中、ご家族との面会は、ガラス越しに電話を使用した上で続けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ過の影響で制限がある中、知人様・友人様が面会に来られた際は、家族同様にガラス越しにて電話を使用し続けている。	コロナ禍の為、家族や友人・知人の訪問時は窓越し面会である。利用者が電話で要望された物を持参されている。理美容は訪問理美容で、買い物はスタッフが支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者、気の合わない入居者を踏まえ、座席の位置を考慮している。またレクも全ての方が、楽しめる様に考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域コミュニティーから情報を施設にて共有し、退去後の電話でのやり取り、家族へのフォロー体制が有る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	施設に置いての生活パターン、変化を見落とさず、介護計画の更新の度、計画にしっかり上げている。	日々の関わりの中で思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、表情や仕草などの動作を家族に報告し、家族の意見も参考にフロア会議で意見を出し合い本人本意に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族とのコミュニケーションの中で知り得た情報を受け止め、他のスタッフと共有し本人のニーズとして生活歴を重視しに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の意欲、出来る事を優先し進んで喜ばれるケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画となる目標を考え、ご本人のペースに合わせ行っている。モニタリングにより目標計画も含め、スタッフと情報を共有し行っている。	本人・家族の思いや主治医の意見の情報提供を参考に、担当者会議で話し合い、個々人の生活状況に応じた介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月毎に行い、見直しもしている。状況変化時はその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りにて変更点や更新点を含めてスタッフ同士共有し日々の観察に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ過に置いて以前のように出来ないが、写真や電話にて状況を伝えコミュニケーションを常にするよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在コロナ過で地域のお祭り等無かったり、参加できなかったが、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人、家族希望のかかりつけ医を確認している。かかりつけ以外は、原則家族に受診をお願いしている。また、移動介助が困難場合等は、ホームで送迎を行っている。	入居時にかかりつけ医を確認している。協力医療機関へ4週に1回職員同伴で定期的に受診している。歯科の訪問診療や必要時に往診もある。皮膚科や眼科などの専門外来への受診は基本的に家族に依頼し、困難な場合は職員が同伴している。電話等で結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日体調確認で変化や訴えが、有ったら、その都度病院に、電話やメールで看護師に伝えている。その後、主治医からの指示を伝えてくださっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、生活状況をサマリーにて情報提供をしている。コロナ過の影響により、面会が出来ない為、看護師へ状況確認を伺うなどして情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時、家族にターミナルケアの意向を聞きながら、対応を行っている。また、入居者の状態変化に応じて、その度主治医と家族と話し合いを重ね、適切と思われる方法を取り組んでいる。</p>	<p>契約時に口頭で、事業所で出来ることを説明し、入居時看取りケアについて意思確認している。状態変化を介護記録に記載し施設長から家族に説明したり、主治医からの説明がある。家族と話し合い、方針を確認しながら介護ケアに取り組み、最終的に医療機関へ転院支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時は、AEDが使用できるように普通救命講習を受けているが、コロナ過で中止している。また、応急時の対応については、勉強会を実施し、冷静に行動出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を、消防署立ち合いと自主訓練の年2回実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、防災設備は定期的に業者が点検している。また、自然災害時の水や缶詰、レトルト食品の非常食が備蓄してある。</p>	<p>地震・水害・原発事故等を網羅したマニュアルを作成し、年1回消防署立会で避難誘導訓練や消火の訓練で指導を受け、防災設備の点検は業者が実施している。年1回自主訓練で夜間想定避難誘導訓練を敷地内の障害者施設職員の協力を得て実施している。緊急連絡網には公民館長も入っている。非常用備蓄としてとして、水・米・缶詰・レトルト食品等が有り、カセットコンロやランタン等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の意思や希望を尊重し自尊心を傷つけないようにしている また個々のプライバシーを大切に して頂けるように、それぞれに 応じた対応を行っている。	年1回、プライバシーや接遇について勉強会を実施している。入室時はノックし、入浴や排泄時は、個々に応じた言葉かけを行い、タオルで覆ったり、支援する位置を考慮する等、羞恥心に配慮した対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や思いやりを話やすい環境を作り、自己決定出来るように支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	一人ひとりの意思を尊重し、希望に 添い過ごして頂けるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に応じた服や本人の好みに合わせた物を選択している。また、定期的にビューティーヘルパーを依頼し散髪を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間が、楽しみになるよう嗜好を考慮し献立を立てている。片付け等は、出来る範囲で一緒に行っている。	献立は職員が作成し、利用者の好みを聞き、週1回刺身を提供している。食形態は原形がわかる程度に刻み、代用食の提供もしている。手作りの季節行事食、誕生会にはケーキでお祝いしている。準備や片付け・野菜の皮むき・お盆拭きを個々に応じて一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に合わせて食べる量や栄養バランスを考え、水分量は一日を通じて確保できるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔を保ち、本人の状態に合わせ、毎食後にそれぞれの力に応じた口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンや状態を把握している。残存機能を活かし自力に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、出来るだけ、昼夜トイレ排泄を基本に、耳元で声かけトイレ誘導し、排泄の自立に向けた支援を行っている。夜間のポータブルトイレ使用者もいる。全員下肢筋力維持に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日に必要な水分摂取を心がけ、便秘傾向にある、入居者には運動への働きかけを行っている。また、必要であれば医師へ相談し、薬での対応を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴のタイミング等は、入居者の要望に沿って決めている。残存機能を活かし、出来ない所は、職員が介助を行っている。又、お湯の温度は、一人ひとりの好みの温度に合わせて、入浴を楽しめる様に支援している。	週2・3回午前中の中の入浴で希望や排泄状況に応じて順番の変更がある。時々入浴剤を使用し香りを楽しんでいる。入浴拒否がある場合、声掛けのタイミングや時間調整し工夫するが、無理強いはしてない。体調により、陰洗や清拭支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日常生活の中で、日向ぼっこやレクリエーション等を、安眠に向けての支援を行っている。又、好きな時間に居室へ戻られ、休息をとって頂くよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋を活用し、薬の内容や副作用等、把握している。又、薬の変更が、ある場合には、服用後の状態の確認を行い職員間で状態の共有をしっかりと行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力に沿った、生活リハビリを活かし、楽しみながら役割を持って頂けるように支援している。又、レクリエーション等を行い、楽しみごとや気分転換に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍の影響もあり。外出支援が、困難であるが、周辺を散歩したり、近場へドライブに出かける等し、楽しんで頂ける様支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍で外出困難の中、ホーム周辺の散歩、近隣での花見、定期的な医療機関受診に出かけている。部外者との接触を避け、公用車で近くの神社や紅葉見物・初詣に出掛ける等、外出支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金は基本的に施設管理となっているが、本人の希望に沿ってご家族の了承を得て一部本人が、所持されることもある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に沿い、日常的な会話を電話でしたり、携帯を所持し交流関係が、継続できる様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の作品を展示したり、空調・照明に配慮している。</p>	<p>共用空間は開放的で加湿付きの空気清浄機や温度計を設置し、採光を留意し、終日換気を行いエアコンで調整し、過ごしやすい環境を心がけている。テレビやソファを配置し、壁には季節感のある壁紙や入居者作品の塗り絵等を掲示し、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自室でテレビを見る方、ソファでゆっくり過ごされている方、テレビで歌を聴く等、安心して共用されている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人にとって、安心した居心地よい居室となる様に、写真や馴染みの物を配置、行動スペースを確保し安全も配慮して生活されている。</p>	<p>居室は掃き出し窓で、ベッド・整理棚・エアコンを設置している。使い慣れた寝具類や洋服タンスが持ち込まれ、家族写真やプレゼントの花が飾られる等、居心地よく過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>身体状態に合わせ、家具やベッドの配置を行っている。トイレや居室、入居者に合わせ、わからないことに対して目印をつけている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない